

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		めるへん				公表日	令和8年2月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に合わせた環境設定をしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員に加え、児童数に応じて人員を増やしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差をできるだけ無くすようにしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日終業後の清掃を実施している 児童の活動に合わせて空間を分けている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		バリアードを常設し、個別空間を作れるようにしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		情報交換・共有やフィードバックを行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を集計し、意見をいただいた内容を職員間で共有し改善するようにしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に一度または必要に応じて職員間でディスカッションをしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価は実施していない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内外研修にて研究を実施している		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年度ごとに作成し、ホームページに公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者からの聞き取りを行ったうえで支援計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画の作成は職員間で協議し児童の特性に合わせた計画を作成をしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		サービス計画は職員間で共有しその内容に合わせた支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを用いて個別支援計画を作成している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的にあセスメントを行ったうえで本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		アセスメントシートなどすぐに確認できるようにしている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童の特性や状況に応じて皆にとって有益になるようなプログラムを提供している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		特性に応じて活動することを想定している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の支援内容や役割分担について職員間で情報交換している	ミーティングなどできない場合はグループLINEにて情報交換している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りを実施し、気付いた点はグループLINEにて共有している	支援終了後に職員間で打合せを行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録ノートにその日の出来事を記入したり連絡帳の控えを保管している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		児童に応じた支援内容を設定している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		遠足など行く場合はこどもたちにアンケートを取り行先を決めている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携し支援を行う体制ができています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の情報共有は保護者の方に共有していただき、学校とも直接連絡がとれる体制ができています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			機会があれば積極的に情報共有を行う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在該当児童はいない	問い合わせがあれば情報共有していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要があれば検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園で地域児童と遊んだりスポーツセンターで他のデイサービスと交流する機会がある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			区役所主催の部会には参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳と送迎時に日々の様子を伝え情報共有を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者から家族支援について相談を受けた場合は助言を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に支援についての要望を受け入れそれに基づいた支援を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者から同意をいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		電話やLINE等で相談に応じている	その都度相談を受け付け対応していく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		親子イベントを企画することでその機会を設けたいと思う
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		要望などは対応しているが苦情があれば適切に対応していくように努める
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	電話やLINEにて保護者に行事予定を伝えている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報が記載されている書類は情報が漏れないように保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	児童の特性など理解した上で配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		保護者の要望があれば検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各マニュアルを策定しており訓練も実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	避難訓練は定期的に実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	そのような情報は保護者から確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	現在、対象の児童はいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画に基づいた研修や訓練を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時に完全計画に基づく取り組み内容を説明している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	共有し再発防止に努めている	ヒヤリハットがあれば即記入するという流れを強く周知していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	定期的に研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現状そのような事例はない	